

1. 名称：特別展「古代アンデス文明展」
2. 主催：「古代アンデス文明展」仙台展実行委員会（仙台市博物館、TBC東北放送、河北新報社）
3. 後援：ペルー大使館、ボリビア大使館、宮城県、宮城県教育委員会、毎日新聞社仙台支局、産経新聞社東北総局、読売新聞社東北総局、日本経済新聞社仙台支局、仙台リビング新聞社、NHK仙台放送局、仙台放送、ミヤギテレビ、KHB東日本放送、Date fm、ラジオ3 FM76.2、IBC岩手放送、テレビユー山形、テレビユー福島
4. 協力：ペルー文化省、ボリビア文化観光省、クントゥル・ワシ調査団、国立民族学博物館、東京大学総合研究博物館
5. 監修：島田泉氏（南イリノイ大学人類学部教授）、篠田謙一氏（国立科学博物館副館長兼人類研究部長）
6. 会期：平成30年7月27日（金）～9月30日（日） 開催日数 59日間  
休館日：毎週月曜日（8/6・8/13・9/17・9/24は開館）、9/18（火）、9/25（火）
7. 会場：仙台市博物館  
（テーマ展示室Ⅰ・Ⅱ、コレクション展示室Ⅱ、企画展示室、ミニシアター、ギャラリー）
8. 観覧料：一般・大学生 1,500円（前売 1,300円）、高校生 800円、小・中学生 600円
9. 展覧会構成：

|     |                   |
|-----|-------------------|
| 第1章 | アンデスの神殿と宗教の始まり    |
| 第2章 | 複雑な社会の始まり         |
| 第3章 | さまざまな地方文化の始まり     |
| 第4章 | 地域を超えた政治システムの始まり  |
| 第5章 | 最後の帝国—チムー王国とインカ帝国 |
| 第6章 | 身体から見たアンデス文明      |
10. 関連イベント等：
  - (1) 記念講演会①（申込制・聴講無料）  
7月27日（金） 13:30～14:30 博物館ホール 参加 219人  
講師：篠田謙一氏（国立科学博物館副館長兼人類研究部長）  
演題：「古代アンデス文明 その誕生から滅亡まで」
  - (2) 記念講演会②（申込制・聴講無料）  
8月5日（日） 10:30～12:00 博物館ホール 参加 216人  
講師：坂井正人氏（山形大学学術研究院教授）  
演題：「ナスカの地上絵を生んだ古代アンデス文明」
  - (3) 記念ライブ「瀬木貴将スペシャルミニライブ」（申込制・無料）  
8月25日（土）①11:00～11:30 ②14:00～14:30 博物館ホール 参加 237人  
出演：瀬木貴将氏（サンポーニャ・ケーナ奏者）
  - (4) SMMA クロスイベント「ラマのオセロ君クイズ」（申込不要・無料）  
8月10日（金） ①10:00～ ②11:30～ ③13:30～  
博物館ギャラリー 参加 93人 出題：八木山動物公園飼育員・博物館学芸員
  - (5) ミュージアム・セミナー（博物館活用研修を兼ねる）  
8月2日（木） 10:30～12:00 博物館ホール・展示室 参加 105人
  - (6) 友の会広報セミナー  
7月30日（月） 13:30～15:00 博物館ホール・展示室 参加 135人
  - (7) プレイミュージアムイベント「プラ板でアンデスキャラ！」  
会期中開催 参加 3,344人（1日平均 57人）
11. 観覧者数：50,315人（1日平均 853人）
12. 展覧会の様子や観覧者の感想  
じっくりご覧になっている方が多かった。夏休みの時期も重なり、小中学生の観覧が目立った。ユニークな土器が多かったので、主な資料に鏡などを置き、背面などをみせる工夫をしてもよかった。

〈観覧者の感想（アンケートより）〉

- ・ 展示内容がとても充実していて楽しめました。珍しいものがいっぱいあって面白かった。
- ・ アンデス文明やインカ帝国について詳しく知ることができた。
- ・ 説明が2カ所あったので読みやすかった。写真撮影がOKだったがシャッター音が気になった。